

政策 01 みんなで支えあう健康のまちづくり

施策 04 高齢者福祉の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
高齢者が健康で生きがいを持って、元気に生活しています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	自立高齢者の割合 (%)	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
	【長寿課】	85.2	85.2	84.7	82.9	☂ (低下)
評価	前年度の実績に比べ、現状値が0.5ポイント減少した。令和元年度に後期高齢者の人口が前期高齢者の人口を超えたことにより、今後も指標が悪化していく可能性が高いと考えられる。					対前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

指標	生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
	【長寿課】	70.8	70.8	70.5	85	☂ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.3ポイント減少した。何をもちて生きがいとするかは、個々の価値観によるところもあると考えられるが、高齢者自身に社会での役割があるなど、自己肯定感を高められるような取組が不足していたことが要因の一つとして考えられる。					対前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 高齢者の健康対策と社会参加の促進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	地域活動に参加している高齢者の割合（％） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		27.7	27.7	27.9	35	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.2ポイント増加した。シニアクラブや自治会など、各地域の団体が啓発活動を行っていることが、増加の要因と考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						▬ (高)

基本事業01 高齢者の健康対策と社会参加の促進

指標	高齢者の健康維持への取組平均実践項目数（全7項目中）（項目） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		3.18	3.18	3.24	3.5	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.06ポイント増加した。高齢者に対し、広報、チラシ、各教室などで、健康づくりや介護予防の必要性を周知していることが、増加した要因として考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						▬ (高)

基本事業01 高齢者の健康対策と社会参加の促進

指標	就労している74歳以下の高齢者の割合（％） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		27.5		34.8	30	☀️ (向上)
評価	後期の基準値27.5%（H28年高齢者保健福祉計画アンケート数値）に比べ、7.3ポイント増加している。元気な高齢者が働ける環境が整っていたり、働く意欲のある高齢者が増えていると考えられる。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 介護予防の推進

指標	介護予防教室参加者の改善割合（％） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		86.4	86.4	88.8	88	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、2.4ポイント増加した。（実数はH30改善57人/66人、R元改善40人/45人）理学療法士等の専門職の指導が効果的に行われていると考えられる。 R元年度は、3月に評価を行う事業で、新型コロナウイルス感染症予防により、事業を中止し評価未実施分については数値に含めていない。					対前年度
						☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 介護予防の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	81.4		80.4	83	☂ (低下)
評価	後期基準値（H30年度実績値）に比べ、現状値が1.0ポイント減少した。フレイル状態になり支援が必要となる年齢が、昨年度と比べると下がった。令和元年6月に後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回ったことにより、高齢化が進行したことが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (中)

基本事業03 高齢者福祉の担い手育成

指標	高齢者福祉ボランティア団体等の参加人数（人）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	188	188	193	250	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が5人増加した。ボランティアの高齢化が問題になっているため、ボランティア活動の周知等を行ったことにより新規会員が増加した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ (中)

基本事業03 高齢者福祉の担い手育成

指標	高齢者のための福祉ボランティアへの参加意向がある市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	10.1	10.1	11.5	15	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が1.4ポイント増加した。ボランティアの種類が多様にあることで選択肢があり、参加しやすい環境にあることが要因の一つと考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■■ (高)

基本事業04 高齢者福祉・介護サービスの充実

指標	介護サービス利用者の満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	89.7	-	86.8	90	☂ (低下)
評価	指標は、高齢者保健福祉計画（3年に1度作成）アンケートから取得。直近平成28年度の実績値89.7％に比べ、令和元年度の実績値は86.8％であり、2.9ポイント減少している。利用者のニーズが多様化し、きめ細かいサービスを求められていると考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (高)

基本事業04 高齢者福祉・介護サービスの充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	一般高齢者サービス利用者の満足度 (%)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
	【長寿課】	90	-	88.2	96	☔ (低下)
評価	指標は、高齢者福祉計画（3年に1度作成）アンケートから取得。直近平成28年度の実績値90.0%に比べ、1.8ポイント減少している。高齢者が増加するとともにニーズが多様化してきていると考えられる。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						☐☐☐ (高)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

指標	要介護認定を受けている人のうち、在宅で生活している人の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
	【長寿課】	85.7		89.0	88	☀ (向上)
評価	後期基準値（H30年度実績値）に比べ、現状値が3.3ポイント増加した。介護認定者数は年々増加しているが、自宅やサービス付き高齢者向け住宅等で生活している認定者が増加したと考えられる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏠 (達成)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

指標	地域包括における高齢者の相談対応件数 (件)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
	【長寿課】	6,249		6,360	9,000	(---)
評価	後期基準値（H30年度実績値）に比べ、現状値が111件増加した。後期高齢者の増加に伴い、今後も高齢者の相談は増加すると考えられる。					対前年度
						(---)
						目標達成度
						(---)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

指標	地域包括3課題への取り組み件数(累計) (件)	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対基準値
	【長寿課】	25		12	27	☔ (低下)
評価	後期基準値（H30年度実績値）と比較すると、13件減少した。取り組み件数としては減少しているが、「見守り部会」では、高齢者の見守りモデル事業がほぼまとまったため、部会の回数が減ったことと、3月に実施予定であった部会を新型コロナウイルス感染症予防のため中止にしたことが要因である。3課題の部会「移動手段部会」「見守り部会」「居場所づくり部会」					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						☐☐ (中)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	高齢者虐待件数（認定）（件） 【長寿課】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
				9	9	20
評価	後期基準値（H30年度実績値）に比べ、11件増加した。虐待通報件数の増加（H30年度15件、R元年度29件）と、H30年度までは事実確認した結果要観察者としてフォローしていたケースを、令和元年度からは事実確認したケースすべてを認定としたことが要因と考えられる。					対 前年度